

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 91	67	ヘルパンギーナ	↗ 38	30
咽頭結膜熱	↗ 79	72	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 40	32	急性出血性結膜炎	↘ 0	1
感染性胃腸炎	↗ 320	280	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 20	9
水痘	↗ 27	21	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 63	57	無菌性髄膜炎	↗ 5	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 1	0	マイコプラズマ肺炎	↘ 0	4
突発性発しん	↘ 48	51	クラミジア肺炎	↘ 0	1

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎** 報告数:320件(前週:280件)
地区別:菊池、有明、人吉
年齢別:1歳 59件(18.4%)
- RSウイルス感染症** 報告数:91件(前週:67件)
地区別:人吉、水俣、宇城
年齢別:1歳 36件(39.6%)
- 咽頭結膜熱** 報告数:79件(前週:72件)
地区別:山鹿、菊池、宇城、天草
年齢別:1歳 16件(20.3%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	23	14	11	11	56	5	13		18		3			17		5		
山鹿保健所			30		18		5						*	*				
菊池保健所	12	21	10	10	100	11	17		10		4			2				
阿蘇保健所					1	1							*	*				
御船保健所					6						1		*	*				
八代保健所	9	1	1	1	33	2	5	1	4		2							
水俣保健所	8	1	1	1	6		3		1				*	*				
人吉保健所	27			3	28	3			2		2		*	*				
有明保健所	1	2	2	2	50		9		6									
宇城保健所	11	5	8	8	16	4	3		3		11		*	*				
天草保健所			5	4	6	1	8		4		15	1		1				
計	0	91	79	40	320	27	63	1	48	0	38	1	0	20	0	5	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	91	16	21	36	16		2															
咽頭結膜熱	79		2	16	9	10	10	15	10	1	1	4	1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40			1	3	3	4	7	9	5	3	3	2									
感染性胃腸炎	320	7	30	59	46	35	26	25	14	9	12	9	34	3	11							
水痘	27			7	2	6	4		2	1		4	1									
手足口病	63	1	4	20	17	10	5	2		1	1	1	1									
伝染性紅斑	1			1																		
突発性発しん	48	3	21	22	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	38	2	2	10	11	4	3	3	1			1		1								
流行性耳下腺炎	1		1																			
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	20			1	1	1		1					1	1	6	6	1	1				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	5		1		1		1	1	1													
マイコプラズマ肺炎	0																					
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- ☀ ヘルパンギーナ:天草
- ☀ 咽頭結膜熱:山鹿、菊池、宇城
- ☀ 感染性胃腸炎:菊池

RSウイルス感染症に
注意しましょう

RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症です。今年は、7月下旬から増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。昨年、ほぼ同じ時期にRSウイルス感染症が流行しており、9月下旬をピークとして、11月にかけて流行が続きました。年齢別では、2歳以下からの報告がほとんど(約98%)です

(症状)

鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。

(予防策)

ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染します。流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いをきちんと行うなど、乳幼児のいる家庭では、家族全員で予防しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課